

23.3期第2四半期 決算補足説明資料



2022年10月27日



23.3期第2四半期決算 連結損益

- 売上高は、進行基準案件の順調な進捗により増収
- 営業利益は、増収および案件の採算性向上により増益

【単位：億円】	22.3第2 四半期実績	23.3第2 四半期実績	前期比	22.3期予想
受注高	592	648	+56	1,000
売上高	344	374	+30	1,000
営業利益	5	9	+4	50
営業利益率	1.5%	2.4%	+0.9pt	5.0%
経常利益	11	14	+3	55
親会社株主に帰属 する当期純利益	9	9	+0	38
一株当たり 当期純利益	20円63銭	19円72銭	△0円91銭	86円09銭

23.3期 第2四半期決算、通期予想 (1) 受注高、売上高

受注高

■ 2Q

【水環境事業】 大型案件が集中した前期の反動で減少も、引き続き好調

【産業事業】 大型案件の受注により増加

■ 4Q[予想]

【水環境事業】 過去最高の前期比では減少予想だが引き続き高水準を維持

【産業事業】 引合は回復しており、増加を予想

売上高

■ 2Q

【水環境事業】 受注済み案件が順調に進捗し増収

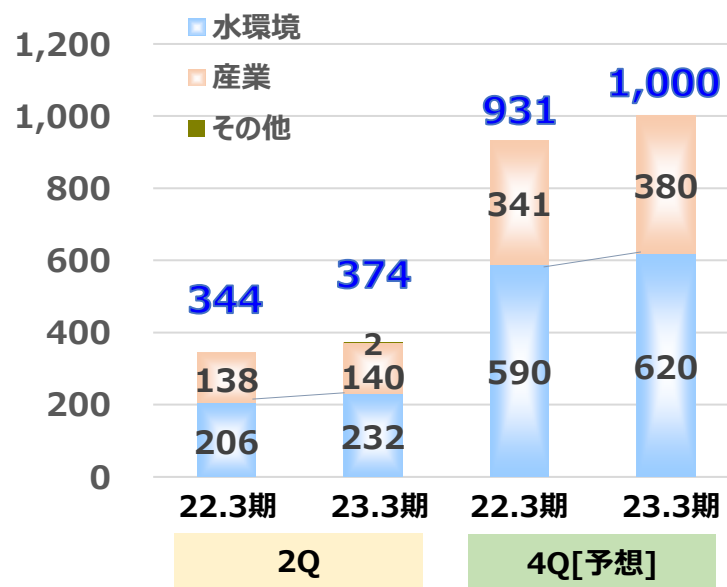
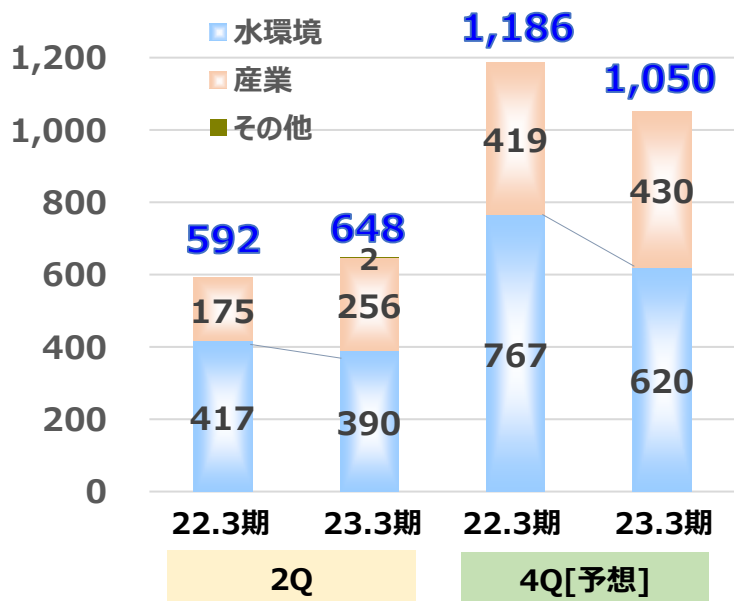
【産業事業】 減収傾向が続いていたが、回復基調となり、横這い

■ 4Q[予想]

【水環境事業】 豊富な受注済み案件が進捗し増収

【産業事業】 焼却などの受注済み案件が進捗し増収

単位：億円 その他：物流設備など不動産管理、賃借などに関するセグメント



23.3期 第2四半期決算、通期予想 (2) 営業利益

営業利益

- ✓ **23.3期は、一過性の要因から減益予想**
- ✓ **上期は、採算性向上と一部案件の進度アップにより増益**
- ✓ **下期は、一過性の要因のうち、①物流施設の固定資産税、③事業再編費用が集中して発生することから通期予想は据え置き**

＜一過性の要因＞

- ①物流施設のフリーレントの影響 (△5億円)
- ②廃棄物処理事業を行う子会社の設備更新の影響
- ③持株会社への移行に関する事業再編費用

■ 2Q

【水環境事業】 増収効果により増益

【産業事業】 採算性向上および一部案件の進度アップにより増益

■ 4Q[予想]

【水環境事業】 増収効果はあるものの、廃棄物処理を行う子会社の設備更新による一部設備の停止の影響により減益を予想

【産業事業】 増収効果はあるものの、工事採算低下と販管費増加により横這いを予想

単位：億円 　 その他：物流設備など不動産管理、賃借などに関するセグメント

